



小樽運河公園から重要文化財旧日本郵船を望む

# 龍谷大学校友会 北海道支部だより

会費納入会員数 131名  
校友支部総数 583名

2021(令和3)  
7月20日発行

## 第20号

発行／龍谷大学校友会  
北海道支部

支部長 海野 英爾

〒047-0028  
小樽市相生町8番13号  
(石井印刷内)  
TEL: 0134-23-8484  
FAX: 0134-33-8281  
MAIL: ipi-ishii@par.odn.ne.jp

## 支部長挨拶

龍谷大学校友会北海道支部

支部長 海野 英爾

日頃、支部興隆にご協力賜  
わっております事、感謝申し上  
げます。

昨年はコロナ禍により、書面  
総会とし、公開講演会も中止に  
しましたが、本年度も同じく書  
面総会にせざるを得ませんでした。  
中でも札幌は「まん延防止  
等重点措置の実施区域」になり  
出るも迎えるもままならない  
状況下にあります。

しかしながら徐々にではあり  
ますが、全国・道内の感染数は  
減少傾向にあり、ワクチン接種  
も佳境を迎え、新たな光が差し  
込まれつつあります。皆様にお  
かれましてはご自愛いただきま  
すようお願い申し上げます。

さて北海道支部は昭和51(1976)年に開設以来、本年2021年は45年目の節目に当たります。この年月は全国の各支部の中で最長といわれていますが、本部の京都より最も離れた北海道が長い歴史を歩んできたのも、皆様のご支援の賜と感謝申し上げます。

本部では「心の講座」「龍 Ron 小町」などの啓発・発信事業を核に様々な事業を精力的に行っています。長らく北海道における校友会の役割について考えていると、直接社会に貢献する事業があってもいいのではと考えております。「建学の精神」や「親鸞聖人の教え」が、現社会にどう映るかを皆さんとお話したいし、探求したく思う事です。様々な課題を持ちながら歩ませて頂きます。

どうぞお身体ご自愛下さい。

合 掌



## 2020(令和2)年度 龍谷大学校友会北海道支部事業報告

### 1. 令和2年度書面総会

2020年4月からの校友会活動は、コロナ禍の収束が見えず、役員会や総会、さらには公開講演会も中止となり、2021年度総会のための役員会も書面にて発送しました。「ご異議」「ご提案」もなかったことから、2021年の総会も書面総会と決しました。

また校友会本部においても2020年度に引き続き2021年度も「ふるさとタイム」や「全国支部長会議」をリモートワークにて開催予定と聞き及んでいます。

### 2. 公開講演会中止

### 3. 会報発行

発行日：  
2020年7月10日  
発行数：597部  
(会費納入者114名含む)

### 令和2年度監査報告

2021(令和3)年度監査報告	
1. 監査対象	2020(令和2)年度龍谷大学校友会北海道支部会計決算
2. 監査日	2021(令和3)年4月22日(金)
3. 監査の場所	寛美寺
4. 監査対象書類	会計帳簿、決算書、通帳、その他監査に求められる書類
5. 監査結果	2021(令和3)年度龍谷大学校友会北海道支部の会計処理について 監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認めます。
以上	
令和3年4月22日	
監査 藤田 善 昭	

## 令和2年度 龍谷大学校友会北海道支部決算

収入の部		自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日			
款	費目	令和2年度決算	令和2年度予算	対比	備考
1	会費	498,000	240,000	258,000	166名
2	本部助成金	0	240,000	△ 240,000	
3	参加費	0	100,000	△ 100,000	総会懇親会
4	寄付金		0	0	
5	雑収入	6	16,795	△ 16,789	利息 祝儀
6	繰越金	813,205	813,205	0	
	合計	1,311,211	1,410,000	△ 98,789	

### 支出の部

款	項	費目	令和2年度決算	令和2年度予算	対比	備考
1		総会費	131,868	150,000	△ 18,132	石井印刷(資料作成、発送手数料)
2		親睦会費	0	10,000	△ 10,000	
3		公開講演会費	0	200,000	△ 200,000	
4		会報誌費	202,464	200,000	2,464	石井印刷(資料作成、発送手数料等)
5		懇親会費	0	140,000	△ 140,000	
6		会議費	0	10,000	△ 10,000	
7		交通費	0	30,000	△ 30,000	
8		通信費	0	10,000	△ 10,000	
9		交際費	0	20,000	△ 20,000	
10		事務費	0	10,000	△ 10,000	
11		雑費	30,800	20,000	10,800	会費振り込み手数料
12		予備費	0	610,000	△ 610,000	
		合計	365,132	1,410,000	△ 1,044,868	

収入合計	1,311,211
支出合計	365,132
差引	946,079

## 2021(令和3)年度 龍谷大学校友会北海道支部事業計画

### 1. 令和3年度総会開催(書面開催)

日時：令和3年6月郵送

### 2. 公開講演会開催

予定：11月

### 3. 会報発行

発行日：2021年7月20日

発行数：583部(会費納入者131名含む)

2021年の夏頃からワクチン接種が浸透し始めるとの政府報告が聞こえることから、せめて「公開講演会」を想定している本年秋にはと希望を持っていますが、様子を見て開催の有無を考えたいと思います。ただし変異株蔓延の兆しもあることから楽観できず、9月まで「公開講演会」案内通知がなければ中止とさせていただきます。



## 令和3年度 龍谷大学校友会北海道支部予算

収入の部		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日			
款	費目	令和3年度予算	令和2年度決算	対比	備考
1	会費	360,000	498,000	△ 138,000	120名
2	本部助成金	240,000	0	240,000	
3	参加費	100,000	0	100,000	
4	寄付金	0		0	
5	雑収入	13,921	6	13,915	祝儀、利息
6	繰越金	946,079	813,205	132,874	
	合計	1,660,000	1,311,211	348,789	

### 支出の部

款	項	費目	令和3年度予算	令和2年度決算	対比	備考
1		総会費	150,000	131,868	18,132	
2		親睦会費	10,000	0	10,000	
3		公開講演会費	200,000	0	200,000	
4		会報誌費	200,000	202,464	△ 2,464	
5		懇親会費	130,000	0	130,000	
6		会議費	10,000	0	10,000	
7		交通費	30,000	0	30,000	役員交通費
8		通信費	10,000	0	10,000	送料
9		交際費	20,000	0	20,000	
10		事務費	10,000	0	10,000	
11		雑費	30,000	30,800	△ 800	振り込み手数料
12		予備費	860,000	0	860,000	
		合計	1,660,000	365,132	1,294,868	

収入合計	1,660,000
支出合計	1,660,000
差引	0



# コラム

## 切磋琢磨



龍谷大学校友会北海道支部 事務局長

石井 伸和

「切磋琢磨」とは「せつさたくま」と読み、「自分の持つ素質をさらに努力してみがくこと。仲間同士がはげまし合ってお互いの向上をめざすこと」を意味し、儒教の経典である経書の一つに数えられる「詩経」を出典とする。

人間関係が「切磋琢磨」であれば、他人の良い部分を学び吸収する関係になるので、争いを誘発する機会は極力避けられることになる。これを念頭に龍谷大学校友会という「建学の精神」を紐解いてみたい。

- すべてのいのちを大切にする「平等」の心
- 真実を求め真実に生きる「自立」の心
- 常にわが身をかえりみる「内省」の心
- 生かされていることへの「感謝」の心
- 人類の対話と共存を願う「平和」の心

という五つの心を「建学の精神」は謳っているが、いずれの項目にも「切磋琢磨」は低通する。日本には「神仏習合」なる概念があるが、「切磋琢磨」は儒教と仏教の「儒仏習合」ともいえる。

たとえば、「すべてのいのちを大切にする平等の心」というすべてとは人間だけではなく森羅万象をいい、近代以後人間中心に経済が培われてきたことへの反省から今日「持続可能性」が叫ばれ、つまり森羅万象に対して切磋琢磨の関係を提案しているわけで、切磋琢磨の範囲を示す。

「真実を求め真実に生きる自立の心」という自立の理想型は自己実現で、他者との比較でもなく、世の毀誉褒貶への媚びでもないのだから、他者を乗り越える意識はそこになかない。つまり切磋琢磨の対象が自分という示唆で、学んで磨くべき自己を説く。

「常にわが身をかえりみる内省の心」という内省は、切

磋琢磨の方法を示し、「生かされていることへの感謝の心」という感謝は、切磋琢磨のリアクションを示している。

「人類の対話と共存を願う平和の心」は、正に切磋琢磨による社会関係を説いている。

この解釈を検算すると、「平和を築くためには生かされていることに感謝し、常にわが身をかえりみる心を持ち、真実を追究し、すべてのいのちを大切にする」という理想の方程式が見えてくる。

こう考えると「切磋琢磨」を「理念」とすれば、五つの建学の精神は「方針」であり「対処」を説く体系に思えてくる。

さてそこで、この体系を社会にどう反映させるかであるが、校友会はこれまで「心の講座」や「公開講演会」等で「発信」は常にしてきた。しかし「行動」を促進する気配はない。校友会は宗教団体でも学会でもないわけで、社会に能動的に機能する価値を持たなければ、アリバイ団体に成り下がる。そろそろ「行動するのであれば」との自問自答が期待される。

いささか過激ではあるが、今般の校友会員不足にくわえて、コロナ禍で引っ込み思案が増殖することを憂えての刺激とご理解願いたい。



## 意識改革がSDGs推進の要 仏教の思想を取入れた「仏教SDGs」とは

～以下、龍谷大学入澤崇学長へインタビュー～



### なぜ大学はSDGs?

「No one will be left behind」誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、仏教の精神「摂取不捨（すべての者をおさめとって見捨てない）」と通じる面があり、浄土真宗の教えを建学の精神に据える大学として、積極的に取り組む意義があると入澤学長は言います。

SDGsの17の目標と169のターゲットには、貧困や飢餓、環境問題など地球上の深刻な課題が含まれており、人類の危機を真摯に受け止め、何とかして解決したいという強い熱意を感じています。

これからの社会を担っていく若者を育てる大学こそ、未来のためにこうした問題に向き合い、いち早くSDGsに取り組むべきだと思います。

### 具体的にはどのような活動をしていきますか?

龍谷大学では「ユヌス・ソーシャルビジネス・リサーチセンター(YSBRC)」を中核拠点に、ソーシャルビジネスを推進します。

YSBRCはバングラデシュで貧困者向け無担保融資を行うグラミン銀行を創設し、ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス博士の名前を冠し、2019年に設立しました。個人の利益を越え、社会貢献や社会課題の解決につながるビジネスを学生や教職員に促していきます。

龍谷大学が建学の精神に据える浄土真宗は、「個人の生活を捨てて社会から出る仏教ではなく、社会の中にとどまり、俗人としての生活を送りながら宗教的感性を高める」という性格を持っています。つまり、内にこもらず社会に目を向けて行動することを推奨します。

### なぜ仏教系の大学がビジネスを推進するのですか?

インドの片隅で生まれた仏教がどうしてアジア全域に広まったのか、ご存知でしょうか。実は普及において大きな役割を果たしたのは商人でした。今というビジネスマンです。

商人は当然、自己の利益を追求するものですが、仏教と接点を持つことで、より大きな利益を生むこ

とに気がついていきます。お金だけでない、人々の利益や社会の利益に気がつき、それを広めていくのです。

日本でも三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)で知られる近江商人が全国に商売を広げました。「世間よし」という考えに強く影響を与えたのは仏教です。実は商人と仏教はかけ離れたものではなく、非常に近い存在だったのです。近江商人の「世間よし」の考えは社会にも役立つことを指し、まさにSDGsの精神に通じています。

### まだSDGsに踏み込めない学生は、何から始めればいいですか?

まずは個人の意識改革です。貧困、教育格差、ジェンダーの問題など、今ある社会問題のすべては、人間が生み出したものです。人間の思考を変えなければ、問題の解決は難しいのです。

人間の歩みの中で、何が欠落していたのか。自分には何ができるのか。思考を働かせてほしいです。SDGsを単なるファッションで終わらせてはいけません。

### 地球規模の課題として新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振りました。コロナは人類にどのような示唆を与えているのでしょうか。

人間が利己主義で開発を進めた結果、本来は動物だけが住む自然の中にまで入り込み、動物だけで蔓延していたウイルスにも感染するようになりました。コロナ禍は人間社会のあり方やSDGsについて考える絶好の機会です。

人が前に進もうと思ったら、一旦立ち止まって考えるプロセスが必要になります。「歩む」という字は「止」と「少」ないと書きます。とかく前に進もうと思ったら、すぐに動こうとしてしまいますが、しっかりと歩を進めるには、少し止まって、思考を深めるプロセスが必要なのです。

社会に欠落しているものは何か。自分は何をすべきか。コロナは立ち止まって考える機会を与えているのだと思います。

<龍谷大学ホームページより>